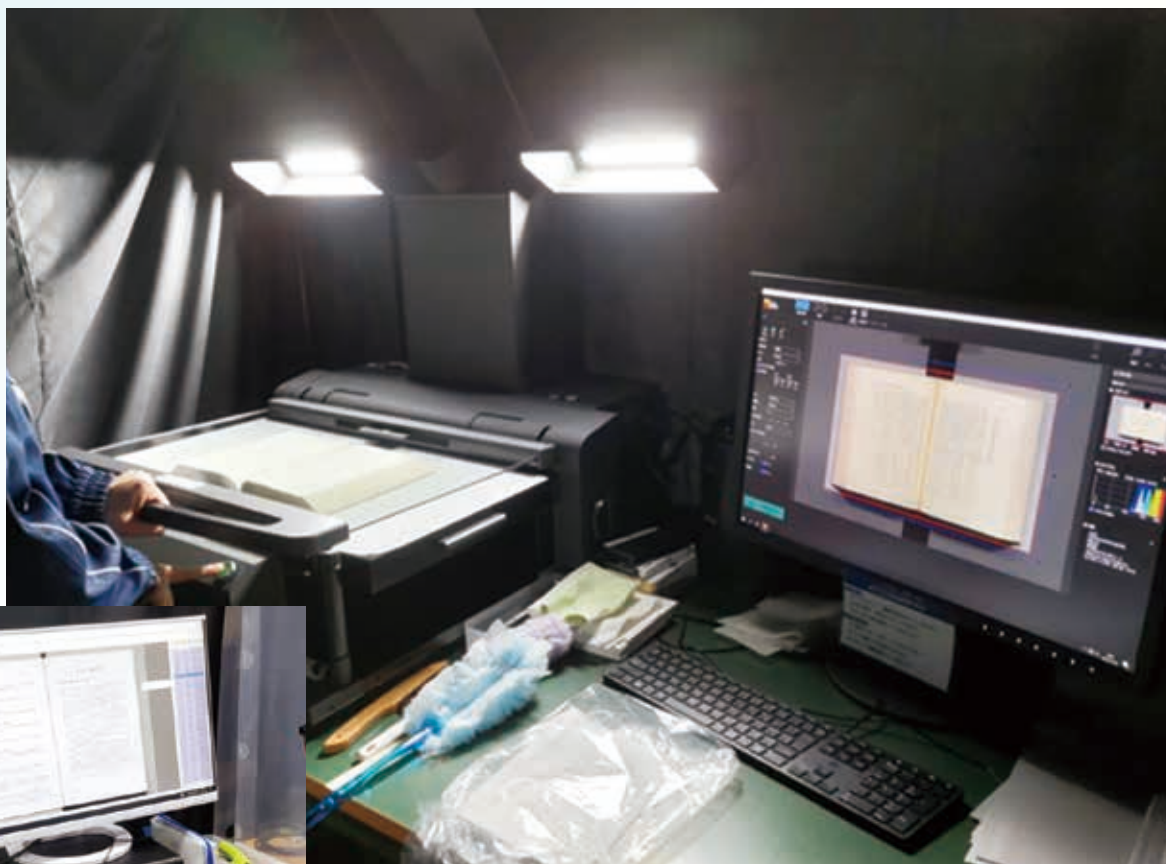


Autumn

2023.9

No.19

コロニーやまがた



〈デジタル化事業〉国内最高基準に対応する電子化設備



INDEX

02



理事長挨拶

法人60年のあゆみ

06



社会福祉法人山形県コロニー協会
令和5年度 事業計画
令和4年度 事業報告

08



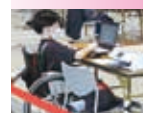
資金収支計算書／貸借対照表

10



ゼンコロ運営委員活動報告
障害者権利条約

11



アビリンピック山形県大会／当事者の声

12



プライバシーマーク
インフォメーション／編集後記

COLONY YAMAGATA

これまでの六十年と、六十一年以後のあゆみ

理事長 須貝 壽一

当協会の創始は、昭和三十六年四月設立の和光工業株式会社です。翌年三月に、当協会の前身となる山形県コロニー和光協会が社団法人認可を受け、その後、昭和四十一年三月に現在の社会福祉法人になりました。昨年三月で協会設立六十周年を迎えました。



した挑戦に敬意を表するとともに、「働き、地域で暮らす」というコロニーの創設期からの不変のニーズを叶えるため、私たちは働く機会を保障し、「完全参加と平等」の実現に向けた歩みを団結し、継続する決意をも共にしました。

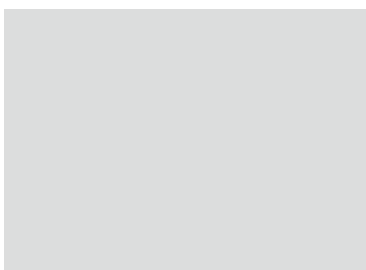
現在の当協会は、ライフステージに渡り切れ目のないサポートができる事業体制を特色とした事業を展開しています。課題も多様化する時代に、コロニーとしての役割を山形でもしつかり果たせるよう、六十一年目以後の新たな時代でも挑戦と開拓を続けていきます。



「コロニーセンター／グループホーム

「地域で働き、地域で暮らす」。
実現への挑戦十三年。

当協会最初の施設のコロニーセンターは入所授産施設でした。平成二十二年二月、桜田南移転時に入所を解体し、生活の場をグループホームや、福祉工場従業員寮を福祉ホームに変え、その後も生活支援の場を増やしながら地域に住居を確保してきました。そして、令和5年3月末に敷地内の福祉ホーム事業を解体し、念願の完全地域移行が完了しました。十三年を要した挑戦でしたが、「地域で働き、地域で暮らす」を実現でき、現在は障害の有無によらず、山形コロニーの全員が自宅から通勤し、共に働く職場になりました。（鈴木 宏）



ワークライフサポートふうれ

「ワークライフサポートふうれ」
開設と近況

山形県及び山形労働局は、障がいのある方に対して身近な地域において就業面・生活面の一体的な相談支援を行う「障害者就業生活支援センター事業」を実施しています。

令和2年、村山圏域における受託法人の変更に伴い、当法人が選定され、同年4月より「村山障害者就業・生活支援センターワークライフサポート ふうれ」を運営し、今年で4年目となります。法人が大切にしてきた思いや実践をふうれも踏襲し、障害のある方の「働く」「暮らす」の充実を図っていききたいと考えております。（大沼）



次代を担う「デジタル化」の新規事業開設と、

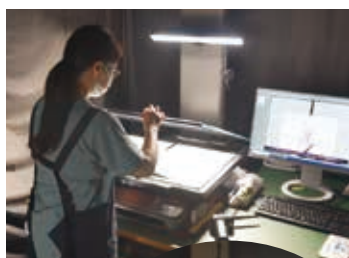
デジタル技術による社会貢献

コロニーの主たる事業である「印刷」は、紙を媒体とした情報です。一方、「デジタル化」は、長年私たちが世に輩出してきた印刷物を再度預かり、近代の情報媒体としての価値を付加し、長期的に活用可能な情報に進化させる技術です。

現代の便利な社会は様々なデジタル技術が活用されています。情報を電子化する利点の二つに、多様な情報アクセスの保障が挙げられます。例えば図書館にある資料は、行かないと見られませんし、他者に貸出し中でも見れません。また、漢字が苦手な障害の方や、日本語が苦手な外国の方、視覚に障害がある方等は、資料を手にしても活

用が難しいこともあり得ます。

一方、デジタル化した資料は、ネットワークさえあれば、見たい時に簡単に検索し、世界中から何人でも同時に使用でき、必要により音声読み上げ機能や翻訳機能を使えば、障害や母語を問わずに活用できる情報になります。さらには、使用による劣化や災害等による情報滅失等のリスクヘッジも容易な上、図書館等の大規模施設も不要で、膨大な情報を安全かつ低コストで管理できます。私たちのデジタル化事業は、地域の全ての人にとって安全かつ平等で、バリアのない情報社会づくりに貢献できる事業になると考えています。（鈴木 宏）



デジタル化で奮闘する

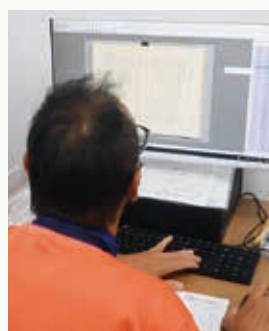
当事者の声

声

昨年の7月から山形県コロニー協会A型事業部デジタル化事業課で勤務しています。作業内容としてはスキニング、画像検査、データ入力等を行っています。スキニングは専用の機械を用いて本のページをスキャンし、デジタル化します。画像検査はスキャンした画像が問題なく撮影されているかをチェックする作業になります。データ入力は現在主に目次の入力を行っています。スキニングや画像検査に取り組む上で守るルールがいくつもあり、それらを踏まえたうえで正確に作業するように心がけています。（荒木 拓）



最初はデジタル化作業の基礎を覚えるのが大変でした。練習期間は、職員が傍にいてくれたので安心して作業できたのですが、本番の作業になると緊張してしまいなかなかうまくできませんでした。現在は、決まっている時間内で3冊〜4冊ほど画像検査ができることを目標に頑張っています。私が任されているのは画像検査の二次検査なので、二次検査の方に迷惑をかけないように丁寧且つ正確な作業を心がけています。この仕事に携わったことで「A型で働きたい」と思い、応募もしました。採用には繋がっていませんでしたが、自分の足りないところに気づくことができて良かったと思っています。これから仕事も続け、新しい人が入ってきたときに自分が教えられるように頑張っていこうと思います。（遠藤義彦）



就労サポートセンター

一般就労を目指して働く準備をする山形コロー就労サポートセンターの活動内容をご紹介します。職場での就労場面を想定して複数人で取り組む活動としてピッキング（品出し作業）、オフィスアシスタント（事務補助作業）、接客訓練、個別の作業として事務作業（パソコンやアンケート仕分けなど）、実務作業（ビーズ仕分けやボールペン分解組み立て、清掃など）があります。そのほか、JST（職場におけるコミュニケーションの訓練）、ビジネスマナー、自立生活訓練、会社に向いて作業する清掃訓練（報酬無し）や施設外就労（報酬あり）、体力づくり・地域貢献を目的とした美化活動（地域のゴミ拾い）、フリースタデイ（裁縫や体力づくり、リフレッシュ活動など）を行っています。作業力だけではなく、社会性や生活の力などが総合的に備わることを目指しています。



(三)

就労継続支援A型

平成18年、障害者自立支援法が施工され、山形福祉工場は就労継続支援A型に移行しました。工場の各セクションにはA型利用者の方がリーダーや係長として責任を持ち現場を取り仕切っています。もちろん職業指導員もいますが、他のA型ではあまり見られない光景と言えます。また、技術の継承においても長年勤務する当事者の方が後輩に仕事を教える光景は正に職場と言えます。

現在、山形福祉工場では印刷物全般と資料の電子化を軸に事業展開していますが、働く皆さんは障がいを持ついても労働者としての意識が強いため、作業レベルは一般企業と変わらない品質を提供する事が出来ています。これが福祉工場の特徴であり強みでもあります。障がい者と健常者、共に働く事がコローの根幹とも言えるので、これからその特色を大事にしていきたいと思えます。



(斉藤)

就労継続支援B型

工賃向上を目指した 新たな取り組み

障害者優先調達推進法は今年で施行10周年を迎えました。障がい者の「働くくらす」を支えていくために、私たちコローセンターも共同受注センターからの様々な仕事にチャレンジしてきました。「働く」目的は一人ひとり違うと思いますが、働くことで得たお金は誰もが喜びややりがいを感じるのではないかと思います。コローセンターでは工賃向上の為にこれまでの既存の事業は継続しながらも、より収益性の高い事業としてデジタル化事業をスタートさせています。スキヤニングや画像検査のような一定のスキルが求められる作業の他に、清掃や用紙カットなど多くの利用者が作業できるような職域を創出し、利用者・職員全員で日々頑張っています。コローセンターの新しい特色にしたいです。



(阿部)

グループホーム

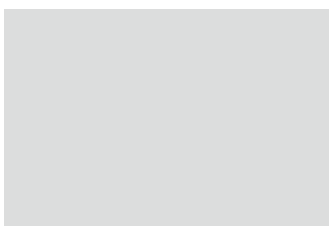
今と将来を考えた支援を

13年前、2ヶ所、定員10名で開設したグループホームは、現在8ヶ所、定員38名となりました。当時は、ほぼ身体に障がいのある方でのスタートでしたが、知的障がい、精神障がいの方も受け入れ、また、女性用、車いすでの生活も可能なホームを開設してきました。

その都度、受け入れる為の環境を整え、障がいの知識を持って、ひとり一人を理解し、援助や支援を行う事を基本に考えて行動してきましたが、社会のニーズは更に変化しています。今後の計画として、夜間や休日の不安を無くす事や、入浴排泄または食事の介護といった日常生活上の援助を必要とする方へのサービス提供を検討しています。

これからも、利用者さん、ひとり一人、今の生活や希望をしっかりと援助し、将来の話もしながら支援を行っていきたいと思っています。

(佐藤 勝)



児童発達支援ういる天童



「ういる天童」は平成28年9月に、開設しました。平成31年3月に新設移転し8年目になります。地域の療育機関として母子活動の特色とする療育を行い、預かり通所も行っています。遊びを通して、「楽しい」「出来た」を親子で共有できる活動をしています。楽しい活動の様子は是非、ホームページをご覧ください。（林）

シード天童



シード天童では、学校の夏休み、市内の関係機関や事業所内で、児童たちがお客様にコーニーセンターのパンを販売するという活動を行ないました。児童たちは、日々の活動で、言葉遣い、おつりの計算、電卓の使い方など販売に必要なことを練習して本番に臨みました。お客様の前に立って販売を経験することで児童たちは大きな自信を付けて2学期を迎えることができました。（相馬）

相談支援事業所



「山形コーニー相談支援センター」は現在5名体制で相談業務を行っています。平成31年3月には天童拠点に「山形コーニー天童相談支援センター」を開設し、現在4名体制です。日々様々な相談が寄せられますが、地域で安心して生活が送れるように一人一人に寄り添った支援を心掛けています。（中川）

事務局



「事務局長以下6名のプロフェッショナル集団」それが法人事務局です。理事会運営、人事労務、経理、庶務、PCシステム管理といった法人の運営に関わる業務を行っています。直接利用者の方々と関わる機会は少ないですが、日々利用しやすい、働きやすい環境を提供できるように努めています。法人の最初の窓口になりますので、いつでもどんなことでもお問い合わせください。（佐藤佳代子）

社会福祉法人山形県コーロ協会

令和5年度 事業計画

全体方針としては、それぞれの障害福祉サービス事業の機能や目的をしっかりと果たす支援を展開し、障がい当事者の人権や生活等の向上に貢献します。併せて、各事業計画を着実に達成することとを目標とし全従業員が共同していきます。また、売り上げや給付費の増収と経費削減等の経営努力を重ね、就労支援事業の収益改善、事業振興・継続、利用者・利用率の確保及び人材育成と専門性の向上を目指します。その他に、プライバシーマーク取得事業所として、個人情報等の運用管理はしっかりと行います。

就労継続支援事業A型の印刷事業は、需要低下や原材料等が高騰していますが、前年度程度の収益を目指し努力していきます。また、デジタル化事業は、障

がい当事者の参画を一層強化し活躍を目指すとともに、国立国会図書館の仕事の他に独自の受注活動を展開し、印刷と両輪で共に働く事業へと成長させていきます。

就労継続支援事業B型は、感染症対策を徹底し安心して通勤できる場を保障するとともに、山形県が開設した「共同受注センター」を上手く活用し、作業体制と支援体制の最適化を図りながら、工賃が前年度実績を更新できるように努力します。

就労移行支援・就労定着支援事業では、デジタル化作業の実務作業を通じた訓練メニューと高工賃を両立させる移行支援サービスの確立等を目指します。村山障害者就業・生活支援センターは、組織内の情報共有や連携

支援体制等の向上を目標とし、特色あるセンター事業を展開していきます。

共同生活援助事業は、感染症対策をはじめ生活・健康管理に関わる生活技術支援を中心に、地域生活の充実と安定を支える支援体制づくりに注力していきます。

天童サポートセンターは児童を主とした事業のため、新型コロナウイルスの学校での感染の影響が経営に影響したこと、今年度はこの点の改善に関係機関と連携していきます。



重点計画

- ① 就労継続支援事業A型の収支改善（印刷事業、デジタル化事業）
- ② デジタル化事業の推進と、当事者参加と活躍支援、自主営業展開の開始
- ③ 経営状況の月次報告体制の改善（事務局）と、コストマネジメント強化（管理職）
- ④ 事業継続計画による福祉サービス事業開所の継続と、利用者利用率の確保
- ⑤ プライバシーマークの適切な運用管理
- ⑥ 地域生活支援の強化と、生活支援員や世話人等の専門性向上
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症対策の継続と、災害対策の強化・整備
- ⑧ ウイズコロナへの適応と、地域貢献・交流・連携活動の強化
- ⑨ 職員の人材育成と資質向上
- ⑩ 人材の確保

令和4年度 事業報告

法人全体としては、個人情報等を適正に管理運用できる事業者としての信頼と競争力を持つて事業を行うため、3月末にプライバシーマークを取得しました。

就労移行、就労定着支援事業「山形コロナー就労サポートセンター」の就労移行支援は、コロナ禍にあつて通所率の低下等に苦慮しました。また、就労定着支援は、ニーズもあり利用者も増加傾向にあります。支援終了後の離職が生じる点については引き続き課題があります。

就労継続支援事業A型「山形福祉工場」は、令和4年度から国立国会図書館の蔵書を電子化するデジタル化事業を新たに開始しました。また、印刷事業は業界全体の需要低下のほか、電気代等のコスト負担が増大し収入が落ち込みました。

就労継続支援事業B型「山形

県コロナーセンター」は、新たな事業へ参加したこと等により、平均工賃を約16%伸ばすことができました。

福祉ホーム「コロナーハイツ」は令和5年3月末をもつて事業を廃止し、利用者については、「山形県コロナーセンター共同生活援助事業所」(グループホーム)等への移行が完了しました。改めて自立支援機能を高めていくことが必要であり、専門性の向上を図っていかなければなりません。

相談支援事業「山形コロナー相談支援センター、児童相談支援センター」は、緊急時の対応等に調整困難となるケースが想定されるため、地域全体での対応策等を話し合つていく努力を続けていかなければなりません。

障害児支援(放課後等デイサービス、児童発達支援)「山形コロナーシード、シード天童、ういる天童」

は、放課後等デイサービスの定員が一杯でニーズにこたえられないこと等が課題となっていますが、令和4年度にシード天童(放課後等デイサービス)の定員を20名とし、シード天童ながおかを増設しました。ういる天童(児童発達支援)については、コロナ禍で通所控えや感染による欠席等により、登録者や利用実績数が激減しました。

村山障害者就業・生活支援センター「ふうれ」は、限られた予算や人員配置の中で連絡・連携を図りながら、丁寧な相談支援を実践しました。

最後に、長きにわたり当法人の印刷事業等を応援していただきました「山形県コロナー協会後援会」は、令和4年度で発展解消となりました。これまでのご支援に深く感謝申しあげます。

監査報告書

令和4年度の理事の職務の執行について監査を行い、事業報告、理事の職務及び計算書類等について、法人の状況を正しく示し、適正に執行等しているものと認めます。

令和5年5月31日

監事 加藤 英樹
監事 斎藤 一夫



法人単位資金収支計算書

(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)－(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	215,465,000	214,887,973	577,027
		障害福祉サービス等事業収入	366,362,000	357,032,125	9,329,875
		経常経費寄附金収入	50,000	50,000	0
		受取利息配当金収入	3,000	3,409	△ 409
		その他の収入	18,293,000	22,078,557	△ 3,785,557
	事業活動収入計 (1)		600,173,000	594,052,064	6,120,936
	支出	人件費支出	294,864,000	281,797,046	13,066,954
		事業費支出	25,385,000	23,400,728	1,984,272
		事務費支出	71,820,000	67,748,427	4,071,573
		就労支援事業支出	213,765,000	209,884,475	3,880,525
		支払利息支出	823,000	822,866	134
		その他の支出	477,000	272,744	204,256
		事業活動支出計 (2)	607,134,000	583,926,286	23,207,714
	事業活動資金収支差額 (3) = (1)－(2)		△ 6,961,000	10,125,778	△ 17,086,778
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	37,797,000	37,796,933	67
		固定資産売却収入		30,000	△ 30,000
		施設整備等収入計 (4)	37,797,000	37,826,933	△ 29,933
	支出	設備資金借入金元金償還支出	5,004,000	5,004,000	0
		固定資産取得支出	51,018,000	50,542,616	475,384
		施設整備等支出計 (5)	56,022,000	55,546,616	475,384
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4)－(5)	△ 18,225,000	△ 17,719,683	△ 505,317	
その他の活動による収支	収入	その他の活動収入計 (7)	0	0	0
		積立資産支出	800,000	800,000	0
	支出	その他の活動による支出	2,600,000	2,599,810	190
		その他の活動支出計 (8)	3,400,000	3,399,810	190
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7)－(8)	△ 3,400,000	△ 3,399,810	△ 190	
予備費支出 (10)			－		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9)－(10)		△ 28,586,000	△ 10,993,715	△ 17,592,285	
前期末支払資金残高 (12)		287,320,152	287,320,152	0	
当期末支払資金残高 (11) + (12)		258,734,152	276,326,437	△ 17,592,285	

法人単位事業活動計算書

(自)令和 4年 4月 1日(至)令和 5年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)－(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	214,887,973	176,156,738	38,731,235
		障害福祉サービス等事業収益	357,032,125	365,668,687	△ 8,636,562
		経常経費寄附金収益	50,000	500,000	△ 450,000
		サービス活動収益計 (1)	571,970,098	542,325,425	29,644,673
	費用	人件費	282,014,046	280,161,811	1,852,235
		事業費	23,400,728	21,465,930	1,934,798
		事務費	67,748,427	56,025,271	11,723,156
		就労支援事業費用	224,154,649	180,999,782	43,154,867
		減価償却費	27,289,862	26,511,836	778,026
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,814,815	△ 4,869,117	54,302
		徴収不能引当金繰入	282,660	116,800	165,860
		サービス活動費用計 (2)	620,075,557	560,412,313	59,663,244
サービス活動増減差額 (3) = (1)－(2)		△ 48,105,459	△ 18,086,888	△ 30,018,571	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	3,409	3,322	87
		その他のサービス活動外収益	22,078,557	14,382,361	7,696,196
		経常経費補助金等収益	20,563,324	13,024,486	7,538,838
		サービス活動外収益計 (4)	22,081,966	14,385,683	7,696,283
	費用	支払利息	822,866	872,952	△ 50,086
		その他のサービス活動外費用	272,744	260,941	11,803
		サービス活動外費用計 (5)	1,095,610	1,133,893	△ 38,283
		サービス活動外増減差額 (6) = (4)－(5)		20,986,356	13,251,790
経常増減差額 (7) = (3) + (6)		△ 27,119,103	△ 4,835,098	△ 22,284,005	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	37,796,933	60,950,067	△ 23,153,134
		固定資産売却益	30,000		30,000
		その他の特別収益	116,800	115,300	1,500
		特別収益計 (8)	37,943,733	61,065,367	△ 23,121,634
	費用	固定資産売却損・処分損	2	1,015,780	△ 1,015,778
		国庫補助金等特別積立金取崩額 (除却等)		△ 711,193	711,193
		国庫補助金等特別積立金積立額	34,111,866	58,189,664	△ 24,077,798
		特別費用計 (9)	34,111,868	58,494,251	△ 24,382,383
特別増減差額 (10) = (8)－(9)		3,831,865	2,571,116	1,260,749	
当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)		△ 23,287,238	△ 2,263,982	△ 21,023,256	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)		381,157,761	383,421,743	△ 2,263,982
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)		357,870,523	381,157,761	△ 23,287,238
	基本金取崩額 (14)				
	その他の積立金取崩額 (15)				
	その他の積立金積立額 (16)		800,000		800,000
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15)－(16)		357,070,523	381,157,761	△ 24,087,238

法人単位貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	310,867,897	流動負債	47,937,640
現金預金	179,392,423	事業未払金	23,431,430
事業未収金	49,364,811	その他の未払金	5,295,837
未収金	1,038,729	1年以内返済予定設備資金借入金	5,004,000
未収補助金	0	未払費用	1,063,863
未収収益	72,334,473	預り金	583,018
仕掛品	1,994,500	職員預り金	774,672
原材料	1,497,980	前受金	182,820
立替金	3,878,471	賞与引当金	11,602,000
前払金	45,000		
前払費用	1,604,170		
徴収不能引当金	△ 282,660		
固定資産	557,684,312	固定負債	109,018,259
基本財産	264,716,635	設備資金借入金	74,980,000
土地	76,997,713	退職給付引当金	34,038,259
建物	187,718,922	負債の部合計	156,955,899
その他の固定資産	292,967,677	純資産の部	
土地	9,356,400	基本金	164,628,946
建物	52,230,712	第1号基本金	164,628,946
構築物	12,470,844	国庫補助金等特別積立金	112,761,883
機械及び装置	30,855,872	その他の積立金	77,134,958
車輛運搬具	5,092,810	修繕積立金	4,576,153
器具及び備品	63,785,060	備品等購入積立金	36,302,805
ソフトウェア	2,449,142	工賃変動積立金	36,256,000
投資有価証券	25,000	次期繰越活動増減差額	357,070,523
退職給付引当資産	34,038,259	(うち当期活動増減差額)	△ 23,287,238
修繕積立資産	4,576,153		
備品等購入積立資産	36,302,805		
工賃変動積立資産	36,256,000		
差入保証金	2,708,000		
長期前払費用	1,611,500		
定期預金	1,000,000		
預託金	209,120	純資産の部合計	711,596,310
資産の部合計	868,552,209	負債及び純資産の部合計	868,552,209

財産目録

令和 5年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		貸借対照表価額	貸借対照表科目		貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部			Ⅱ 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金預金		179,392,423	事業未払金		23,431,430
事業未収金		49,364,811	その他の未払金		5,295,837
未収金		1,038,729	1年以内返済予定設備資金借入金		5,004,000
未収収益		72,334,473	未払費用		1,063,863
仕掛品		1,994,500	預り金		583,018
原材料		1,497,980	職員預り金		774,672
立替金		3,878,471	前受金		182,820
前払金		45,000	賞与引当金		11,602,000
前払費用		1,604,170	流動負債合計		47,937,640
徴収不能引当金		△ 282,660	2 固定負債		
流動資産合計		310,867,897	設備資金借入金		74,980,000
2 固定資産			退職給付引当金		34,038,259
(1) 基本財産			固定負債合計		109,018,259
土地		76,997,713	負債合計		156,955,899
建物		187,718,922	差引純資産		711,596,310
基本財産合計		264,716,635			
(2) その他の固定資産					
土地		9,356,400			
建物		52,230,712			
構築物		12,470,844			
機械及び装置		30,855,872			
車輛運搬具		5,092,810			
器具及び備品		63,785,060			
ソフトウェア		2,449,142			
投資有価証券		25,000			
退職給付引当資産		34,038,259			
修繕積立資産		4,576,153			
備品等購入積立資産		36,302,805			
工賃変動積立資産		36,256,000			
差入保証金		2,708,000			
長期前払費用		1,611,500			
定期預金		1,000,000			
預託金		209,120			
その他の固定資産合計		292,967,677			
固定資産合計		557,684,312			
資産合計		868,552,209			

社会福祉法人山形県コロニー協会 役員改選

理事長	須貝 壽一 (再任)	常務理事	鈴木 宏 (再任)
理事	前川 孝子 (再任)		齊藤 一夫 (新任)
	阿部 和信 (再任)	監事	加藤 英樹 (再任)
	松田 昭裕 (再任)		伊豆田 徹 (新任)
	鈴木 裕子 (再任)		

一般社団法人 ゼンコロ運営委員 活動報告



山形県コロニー協会ゼンコロ運営委員

菊地 幸恵

私は昨年6月より当協会を代表して、一般社団法人ゼンコロの運営委員として運営に関わっています。活動開始し一年余りが過ぎ年間の流れや、事業内容、ゼンコロが目指している姿について理解を重ねている所です。ゼンコロは「完全参加と平等」この言葉を実現すべく「開拓者の心」をもち運動を続けている団体です。これまでには、内部障害者の身体障害者福祉法の適用を目指し当時の厚生大臣などに要望書を提出し法改正に結びつけてきたことや、「生まれた地域で生きられるように」と民間コロニーの育成を会報で使い呼びかけ、施設に収容することが幸せではないことを社会に働きかけてきた歴史があります。全国10の社会福祉法人で構成し3400人余りの仲間が共に働いています。これから

も理念もとに仲間が増え一人ひとりが社会とつながり仕事をし、生き甲斐を持つて生活を送る事の実現に向けて動き続けていきます。今年度も主催研修の開催、交流型技能競技会の開催、職業的重度障害者の印刷事業に関するマッチング調査の継続、また今後は海外との交流事業も開始していく予定です。加盟している他団体とも就労や生活について学習を重ねながら、制度や生活実態の把握を通し社会への働きかけの主体となっていけるよう動いています。今後も本人が主役となる社会を目指し、ゼンコロの運営委員の一人として邁進していきたいと思っています。



一般社団法人
ゼンコロ運営委員
活動報告QR

障害者権利条約を 活かした、より良い 地域づくり

国際障害者年は山形福祉工場開設から3年後の昭和56年でした。完全参加と平等という言葉は、ゼンコロの綱領、私たちの誓いと共に心の中心に据え、先輩方が自ら運動を展開し血の滲むような努力で権利を獲得し制度を変えてきたことを忘れてはいけないと思いつながら、次々と変わる法制度、新たな福祉サービスの対応に向き合い、一人ひとりと深く向き合うこととなりました。A型、B型の矛盾や利用者負担など。また、自ら生活の場所や方法を選ぶ意思決定支援など、どれだけでできているでしょうか。地域を変えていくには、私たち福祉に携わる者が、障がい当事者の方たちが表に出て、自らの言葉で自分たちの問題を発信していくように支えていくことが必要だと思っています。また、家族の支援も重要だと思っています。子が成人

になっても、親が高齢になっても、子の介護や将来の不安を抱えている家族がいるということは未整備のことが山ほどあるということです。まずは、福祉計画に反映させ、計画のための計画にならないよう、具体的な方策を当事者、事業所、行政と一緒に考えていけるような仕組み作りが第一歩だと思います。何事も当事者抜きには進めないということを大原則にしてほしいと思います。



障害と人権の
総合事典

この一冊!!
障害分野で使われる言語について、わかりやすく、簡潔にまとめられている事典。意味の理解だけでなく、エピソードを用いて言葉の成り立ちから現状まで知ることができる一冊。

アビリンピック山形県大会に出場して

7月5日(水)アビリンピックやまがた2023に就労サポートセンターから4名の利用者さんが参加してきました。種目は、オフィスアシスタント1名、ワードプロセッサ1名、ワードプロセッサ(初級)2名。全員が入賞目指して練習を重ねました。また。大会後は、「色んな人達の頑張る姿を見て良い刺激となった」「今日一日良い経験になりました」「などそれぞれ前向きな振り返りをする事ができました。この経験を自信に変え、一般就労へ一歩ずつ近づけて欲しいと感じた支援員でした。また、山形福祉工場からは2名参加し、以下の声を寄せてくれました。



◆後藤亮介／当日の会場の張りつめた雰囲気にとっても緊張しました。DTP競技では決められた時間内に作品を作るこの難しさを痛感致しました。この経験を生かし、自分が満足できる作品を作れるよう来年も是非挑戦してみたいと思います。

◆鈴木博一／アビリンピックに久しぶりに出場しました。オフィスアシスタント競技での仕分けが難しく最後まで悩みましたが、全課題を時間内に終わらすことが出来て良かったです。来年こそは、正確に早く出来るよう練習し、全国出場を目指したいです。

私の夢

パン屋さんになつて自分のお店を出すのが私の夢です。夢のために、今はコロナバーカリーで毎日お仕事をしてお昼休みや休日はパンの勉強をしています。パンの勉強ノートは数えられないくらい増えています。今も毎日書いています。

しっかり生きて行きたい

私は、13年前38歳の時、あさひ町グループホームに4人で生活をはじめ、現在は飯田ホームAに5人で住んでいます。ホームでの生活は入居してゆくりしながら、自分の好きな事をして楽しく過ごしています。ホームの人達とは、年齢、障害などの違いはありますが、相手の考えに合わせて話をしながら生活しています。職員には、住ん

運動がすきでスポーツやっています

山形福祉工場A型事業部プリプレス係3チーム

皆さんは自分の趣味がありますか。私は運動が好きで障がい者スポーツをやっています。車椅子ユーザーです。平成9年山形県車いすバスケットボールに入部して、10年間を車いすバスケットをやっています。一番の思い出は2000年に東北・北海道ブロック予選で勝ち抜いて、最後の第36回全国身体障害者スポーツ大会に出場して富山県チームと3位決定戦で勝って銅メダルを獲得しました。翌年2001年第1回全国障がい者スポーツ大会が宮城県で開催されて山形県車いすバスケット

就労継続支援B型コロナセンター 武田明日香

です。牛乳パンや紫芋パンの生地を三つ編みが難しくて一生懸命練習中です。自分が作ったパンが店に並んだり、お客さんが買ってくれた時はとてもうれしいです。これからも毎日お仕事をがんばっておいしいパンを作りたいです。

グループホーム 青冢 一宏

でいる人達の事、自分の生き方等を相談しています。また、世話人さんの献立は、家庭的で、健康を考えたフランスの良い美味しい食事です。私は、4年前の10月、母を交通事故で亡くしました。悲しい出来事でしたが、今は母の為にもしっかり生きて行きたいと思っています。母はお金を残してくれました。そのお金を大事に使いながら、これからも



ホームで自分らしく楽しく過ごしたいと思っています。

蜂谷 武



プライバシーマーク取得！

大切な情報は、山形コロニーにお任せください。

山形福祉工場営業課 課長 加藤 一平

山形県コロニー協会は、福祉事業と印刷事業、そして書籍や紙資料の電子化業務を行う法人として、お客様のプライバシー保護に対する取り組みの環境として、令和5年4月にプライバシーマークを取得しました。

福祉事業者として、利用者から提供された個人情報情報を慎重に取り扱う責任があります。プライバシーマーク事業者は、個人情報の保護に関する高い基準を満たす組織であることを証明するものです。私たちは、日々お客様からの信頼に応えるために最善の努力をしています。

また、印刷事業および書籍・紙資料の電子化業務においても、個人情報のみならず、顧客の情報資産等も含めたあらゆる情報の保護を重要視しています。印刷物等の紙資料や電子情報等に含まれるあらゆる情報を、組織的に情報管理規

程等に基づいた取扱いを行えるよう、従業員教育やセキュリティ対策を日々徹底し、日進月歩で進化する個人情報等の漏洩や不正アクセス等のリスク等から情報を守るための体制を構築しています。

改めてプライバシーマークの取得は、福祉事業、印刷事業、電子化事業等の法人が行う全事業や業務において、品質向上と信頼性向上に寄与します。これまで以上にお客様のプライバシー等を保護し、事業者としての社会的責任と、印刷事業・電子化業務等の高品質なサービス提供を両立させてまいります。

どうぞ、皆さまの大切な情報は、Pマーク認定事業所の山形コロニーに、安心してお任せください。

令和5年度事業予定

4月3日	新年度辞令交付・永年勤続表彰
4月27日	苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化委員会
5月15日	第261回 みなし理事監事会
5月19日	桜田南拠点総合防災訓練
5月26日	天童拠点総合防災訓練
5月30日	監事監査
6月8日	第262回 理事監事会
6月22日	天童拠点苦情直接受付日
6月23日	第65回定時評議員会
6月23日	第263回 理事監事会
8月24日	苦情解決委員会・虐待防止委員会
9月14日	第264回 理事監事会
10月20日	桜田南拠点総合防災訓練
10月27日	天童拠点総合防災訓練
11月16日	苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化委員会
12月14日	第265回 理事監事会
1月13日	虐待防止・身体拘束適正化研修
1月19日	天童拠点苦情直接受付日
2月15日	苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化委員会
3月21日	第266回 理事監事会

編集後記

久しぶりの発刊になりました。その間、事業所も働く仲間も増えました。マスクを取ったところをまだ見ていない人もいるかもしれません。次号からはフレッシュな面々が紙面を飾ります。面白い話題を沢山お伝えできるような、皆で頑張ります。

(鈴木裕子)

19号

2023.10 AUTUMN

2023年10月30日発行

■ 山形県コロニー協会

〒990-2322 山形県山形市桜田南1-19

TEL 023-641-7335 FAX 023-641-7368

発行責任者 須貝 寿一

<http://www.yamagata-colony.or.jp/>

